

2015 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 事業の成果

① 組織の運営

- ・ 会員は、運営会員 21 名、一般会員 130 名となっています。前年度に比較して、全体で 10 名増加しました。
- ・ 定例理事会を年 6 回開催しました。
7/16 年間事業計画、9/17 中間点検、12/17 今年度まとめ、2/15（臨時）多世代交流拠点おおなみこなみの運営について 3/16 次年度計画案 5/12 総会議案
- ・ 団体の事業や計画を執行するという理事会本来の役割を実現できるように理事会メンバーを中心としたプロジェクトを設置し、事業を推進しました。
 - 福祉作業所ものづくり応援プロジェクト
事業推進のための会議を開催、「ものづくりをテーマにしたゆるやかなネットワークづくり」をめざし、「ナチュラルカフェ+ショップ hanahaco（はなはこ）見学会」を実施した。
 - NPOクラブの方向性を考えるプロジェクト
理事有志をメンバーにして 2 回開催、現在、実施している事業内容を検証し、中期的な方向性について協議し、理事会での議論に反映した。
- ・ 事務局は 17 名（四街道市みんなで地域づくりセンター 5 名、おおなみこなみボランティアスタッフ 6 名を含む）の体制で運営しました。

② 相談事業・NPOの支援事業

相談事業

- ・ 事務所で日常的に相談を受け付け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応しました。事務所での相談は 20 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 49 件、年間で 69 件の相談件数となっています。

講座、講師派遣事業

- ・ 社会的課題、NPOの状況に沿った内容で 5 講座を企画、開催し、参加人数は合計 76 名でした。
〔 事業報告書作成のための講座、団体情報登録サポート会、はじめての会計講座、NPO・ボランティアグループのためのマイナンバー制度基礎セミナー、NPO法人のための融資セミナー 〕
- ・ NPOと行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加等についての講座の企画、講師派遣を行いました。

③ NPOと地域のためのコーディネーター事業

四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

- ・ 四街道市の平成 27 年度～29 年度の委託事業として、みんなで地域づくりセンターの運営担い、センター事業の企画・実施、センタースタッフの研修を通して、センター機能の充実をすすめ、「みんなで地域づくり（＝市民協働）」を進めました。
- ・ 四街道市の高齢化率が 27%を超える中で、地域づくりサロン「自治会情報交換会」で、自治会の運営と地域の高齢化の課題をテーマとして意見交換を行い、課題を共有しました。
- ・ 地域づくりサロン「コミュニティカフェをつくろう！」（全 4 回）では、初回 40 人以上が他市の事例報告を聞き、見学会、場づくりをテーマとした講座と相談会の開催を通して、2 人が居場所づくりの活動を始めました。また、地域づくりサロン「恋する豚研究所に学ぶ まちに恋

してまちをもっと素適に」を開催し、(社福)福祉楽団の恋する豚研究所及び多古新町ハウスを見学し、規制の枠にとらわれない地域ケアから、地域づくりのヒントを得ました。

- ・ 貧困など子どもの環境の実態把握は動きがつかず、次年度への課題としました。一方、「四街道こども記者クラブ」や「チームよつてら」(寺子屋事業)など、子どもたちが豊かに育つ環境づくりの活動をサポートし、チームよつてらの活動は、地域振興財団、みんなで地域づくりセンター(四街道市)との協働の取組みとして「千葉県コラボ大賞」を受賞しました。
- ・ 四街道の魅力発信や地域活性化を目指して、「四街道マップ活用交流会」の市内散策マップ作成や散策ツアー開催、「よつグルメ研究会」の情報大学との連携による商品開発などの活動をサポートしました。
- ・ 「福祉施設紹介・販売フェア 大きなテーブル」「夏休み小学生ボランティア体験」「地域づくり体験プログラム『コラボラ』」を引き続き開催し、地域づくりに関わる市民の広がりをつくりました。
- ・ ちばユニバーサル農業フェスタでは、四街道市では3回目の開催となり、市内小学生・高校生のステージ発表や、団体の体験・ワークショップなどをコーディネートし、県内18市町からの出展、2500人の参加で、四街道市から「ユニバーサル農業」を発信することができました。
- ・ 地域づくりに関する講座として、「コラボ四街道(みんなで地域づくり事業提案制度)」への提案につなげる「コラボ塾」(連続4回)を開催し3件の新規申請・採択につなりました。「NPO・市民活動団体のための資金調達セミナー」「ソシオ・マネジメント」(IIHOE 発行)を読み意見交換する「組織マネジメント勉強会」(10回)等を開催し、団体の運営力アップを図りました。
- ・ ホームページやブログ、メールマガジン、Facebook などにより、センター事業や市民活動団体情報、助成金情報などを発信し、広報誌『minnade』では、「コラボ四街道」や「居場所づくり」などをテーマに発信しました。次年度は、ホームページへのタイムリーな掲載などが課題です。
- ・ 今年度は、センターから、ドラマチック四街道リサーチプロジェクト、地方創生プロジェクト、生活支援体制づくり研究会への参加、ボランティアセンターと情報交換など、他機関や他団体との連携の場が増えました。地域課題の解決を関係する機関や団体と連携して図っていきたいと思います。
- ・ 県内外の5市町(富里市、香川県善通寺市、大阪府三島町、福島県いわき市、白梅学園(小平市))から視察・研修を受け、四街道の地域づくりの取組みを伝えました。今後も事業の充実と発信を心掛け、他市から情報を得て学ぶことにも努めていきたいと思っています。

富里市まちづくりコーディネーター育成業務

富里市協働のまちづくり条例、推進計画に則り、富里市市民活動サポートセンターのオープン(2016年3月)に向けて、2015年11月からまちづくりコーディネーター5名の研修を行いました。NPOクラブ事務所、四街道市みんなで地域づくりセンターを会場に講義や実地研修、また富里市内の団体の活動現場に出向きヒアリング活動、リーフレット作成、ニュースレター準備号の発行や次年度年間計画について議論しました。この研修ではまちづくりコーディネーターの役割、NPO・ボランティア活動の意義や役割を理解し、どのように課題解決につなげるのかを積み重ねることで、オープン時からスムーズな運営につながりました。

多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業

2014年9月に千葉市花見川区検見川町にオープン。公共施設のほとんどが、年代や目的を差別化して運営されている中で、「多世代交流」に視点を置いた事業を継続してきました。

- ・ 地域の高齢者の健康・生きがいづくりを目的に、千葉市あんしんケアセンター幕張の協力を得て、「健康貯筋体操」を毎月2回開催しました。また、「千葉市認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解と支援を促しました。

- ・ CO・OP 共済 地域ささえあい助成を受けて、ママの笑顔が社会を変えるー楽しい子育てとママの社会参加をすすめるプロジェクトーとして、人形劇サークル「ドロップス」の公演や女性起業家のためのブラッシュアップ講座を開催するとともに、生活クラブ虹の街千葉ブロックの協力を得て、食育講座を連続開催。子育て中のママたちの暮らし支援とネットワークづくりを進めました。
- ・ 歴史講座、折り紙講座、編み物講座、アイチ体操等の講座をボランティア講師の協力を得て継続開催、地域の歴史への理解や生きがいを進めました。
- ・ 福祉事業所の物品や NPO 法人 JFSA のリサイクル衣料品の販売を行い、それぞれの団体への活動の理解と「おおなみこなみ」の運営費の補てんを行いました。
- ・ 検見川商工振興会や町会等が主催する「やあびな」へ参加や「やあびなマルシェ」の開催を行うとともに、検見川神社の祭礼に協力する等、地域と連携した企画に積極的に取り組みました。

福祉作業所のものづくり応援プロジェクト

- ・ 「福祉事業所のものづくりをテーマにしたゆるやかなネットワークづくり」をめざし、「ナチュラルカフェ+ショップ hanahaco (はななこ) 見学会」6/17 を開き、NPO 法人コミュニティワークス理事長筒井啓介さんに、障がいのある人の働き方とお店オープンについて伺いました。(参加者 9 名)
- ・ 福祉施設の販路拡大を目指す、地域創造ネットワークちばの「カタログ選定プロジェクト」に賛同し、「生活クラブ・スピリッツ『Meguru (めぐる)』」カタログ掲載事業者募集説明会&相談会の開催に協力しました。

福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業

東日本大震災により東北 3 県から避難し、千葉県で暮らす被災者を支援しました。

- ・ 千葉県内の生活情報や支援情報を掲載した被災者向け情報紙「縁 joy」を作成、被災元自治体の協力を得て、県内に避難している被災者世帯に送付しました。(毎月 2500 部発行)
- ・ 被災者支援の活動を行っている団体、専門家(臨床心理士、保健師等)、福島県職員、千葉県職員の参加を得て、被災者支援情報交換会を 7/30、9/28、12/10、3/9 に開催しました。3/9 には NPO 法人阪神淡路大震災よろず相談室の牧理事長より講演いただき、今後の支援の在り方等について検討しました。
- ・ 県内の支援団体等がメンバーとする実行委員会を組織し、実行委員会を 6 回開催してイベント「縁 joy・東北 2015」を 11/28 に開催しました。(一般参加 400 名、スタッフ関係者 150 名)
- ・ 「おらが町：福島とつながりたい交流会」を 2/27 に開催、福島県人会等より活動を紹介していただき、被災当事者のゆるやかなネットワークづくりを目指しました。

福島県ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)

- ・ 9/28 に除染と復興状況について専門家と福島県担当課、浪江町職員を招いて学習会を開催しました。
- ・ 10/30~31 に千葉県内に避難している被災者や千葉県内で被災者支援活動を行っている団体のメンバーを対象に、被災地を訪れる 1 泊バスツアーを開催しました。いわき市の復興公営住宅や南相馬市の仮設住宅を訪問して住民と交流を行うとともに、浪江町を視察、役場職員から浪江町の除染の状況や復興計画について説明をいただきました。
- ・ 12/10 浪江町の NPO 法人 Jin の川村代表より震災後の新たな仕事づくりについて講演いただき交流会を開催しました。

浪江町復興支援員支援事業

- ・ 東日本大震災から 5 年が過ぎた今も、千葉県内では約 600 名の町民が避難生活を送っています。多くの生活の不安を抱えている浪江町民の暮らしを支えるために、浪江町千葉県駐在として復

興支援員が4名配置され個別訪問や交流の場づくり等の活動を継続しています。社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムおよび浪江町役場からの受託事業として、復興支援員の活動をサポートしました。

景観まちづくりフォーラム

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催するとともに、「景観を大切にしたまちづくりフォーラム in しろい」を2/13に、県、NPO法人しろい環境塾との共催で開催。「里山景観を生かしたまちづくり」をテーマに、白井市内のフィールド散策とパネルディスカッションを実施しました。

SAVE JAPAN プロジェクト

- ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社協賛で日本NPOセンターと共催する希少生物保護活動事業を受託、ホテルの観察会6/6、13、20とホテルの幼虫放流会12/12を習志野市の「ほたる野を守るNORAの会」とともに企画実施しました。

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金への支援

- ・ 理事として運営に関り、資源循環事業として事業指定プログラム5事業や「北関東・東北台風18号大雨災害緊急募金」、物品仲介事業、エコロ福祉基金運営等に協力しました。助成申請する団体のちばNPO情報館への登録サポートを連携して行いました。また、認定NPO法人リヴォルブから提案を受け、寄付付き商品「英語カレンダー」「えいごれんしゅうちょう」を生活クラブ生協の協力で販売し、214,047円を「子どもの今と未来を支える基金」に寄付しました。

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を行いました。

- ・ 第9回総会を5/26に、理事会は7/28、12/25、2/23、4/26に開催しました。
- ・ 農を通じて様々な人たちが出会い、交流し、働きあう「ユニバーサル農業」を広めるために、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会を継続して運営、「第5回ちばユニバーサル農業フェスタ」を11/23四街道市文化センターで開催し、多くの方に「ユニバーサル農業」を発信することができました。(参加68団体/18市町、来場者数2,500名)

ちばNPO協議会の事務局業務

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担い、幹事会を7/17、9/19、10/16、11/20、1/22、2/18、3/18に開催しました。
- ・ 6/23の総会後に講演会「介護保険改訂に伴う地域課題を考える」を開催。超高齢化社会に対応する地域包括ケア推進に向けた取り組みについて共有し、今後の方向性を考えました。
- ・ 学習会「地域包括ケアって何？ー県内自治体の取組み事例からー」を3/18に開催しました。
- ・ 平成27年度ちば県民活動啓発イベント事業を県の受託事業として12/5に、ららぽーとTOKYO-BAY中央広場で開催。県内のNPO18団体とともにNPOの活動についてアピールしました。

④ 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」53号、54号、55号を毎回1,000部発行しました。53号では「子どもたちの今と未来を支える」をテーマに県内の活動団体を紹介、54号では地域包括ケアをテーマに、地域の居場所づくり事業を紹介、55号では「信頼されるNPOをめざそう」をテーマに、事業報告書提出、マイナンバーの取り扱いや「ちばNPO情報館」の紹介記事を掲載しました。NPOクラブの事業をアピールするとともに、NPOの活動課題に沿って情報掲載し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布しました。

- ・ 掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一歩くん」を月2回配信しました。
- ・ ホームページとあわせて、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」、Facebook ページを適時更新しました。また、地域課題に沿った団体の活動内容を紹介するサイト CHIBAKARA を運営、適時更新しました。

⑤ 他団体との連携・協力事業

- ・ 生活クラブ千葉グループ運営協議会および NPO 法人ユニバーサル就労ネットワークちばに参画しました。
- ・ 千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内20市町村が設置する市民活動支援センターとの連携をすすめました。
- ・ 一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センターの運営に参加しました。
- ・ 国交省の社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会に就任しています。
- ・ 千葉県県民活動推進懇談会、千葉県協働アドバイザーに就任しています。
- ・ 浦安市、四街道市、栄町、千葉市、大網白里市、八千代市、松戸市、印西市、習志野市の委員会等に市民・NPOの立場で関わりました。
- ・ 中央ろうきん助成プログラム千葉県エリアの予備審査を担当しました。
- ・ 「東北圏地域づくりコンソーシアム」の依頼を受け、福島県浪江町から関東圏に避難している町民への取材協力を行いました。作成した原稿は、役場発行の「広報なみえ」に連続掲載されています。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニューズレター「つぎの一步くん」の発行	年3回	当事務所	2名	会員151名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員151名
	・メールマガジン「通信・一步くん」の配信	毎月2回	当事務所	1名	
	・団体ホームページ、ブログ、Facebook等での情報発信	随時	当事務所	2名	
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】	通年	千葉市	4名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 5講座 受講者数76名
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応	通年	当事務所	5名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数20件 相談件数49件
	・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談	通年	四街道市	5名	
	【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】	通年	四街道市	7名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 入館者総数6,846名 相談件数49件
	【富里市まちづくりコーディネーター育成業務】	11月～3月	富里市	3名	まちづくりコーディネーター5名、市民活動・市民事業を行う団体
	【ちばNPO情報館】	通年	千葉県内	2名	市民活動・市民事業を行う団体 登録210団体
	【福祉作業所ものづくり応援プロジェクト】	通年	千葉県内	3名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業】	通年	千葉県内	3名	東日本大震災により千葉県内に避難している被災者、支援を行う団体
	【福島県ふるさとふくしま帰還支援事業】	通年	千葉市内	8名	東日本大震災により千葉県内に避難している被災者、支援を行う団体
	【多様な人々をつなぎ活かす交流拠点事業】	通年	千葉県内	2名	市民一般 来場者数3,456名
	【浪江町復興支援員千葉県駐在支援事業】	通年	千葉県内	2名	東日本大震災により千葉県内に避難している福島県浪江町町民
	【SAVE JAPANプロジェクト】	通年	千葉県内	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【景観まちづくりフォーラム】	通年	千葉県内	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】	通年	千葉県内	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
	【ちばNPO協議会事務局業務】	通年	関東圏及び千葉県内	1名	市民活動・市民事業を行う団体
	【風の村ファームの取組み】			3名	市民一般
【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場に関わるとともに、講座等の講師を担った。				・国交省、千葉県、浦安市、四街道市、栄町、千葉市、大網白里市、八千代市、船橋市、松戸市、印西市、習志野市、白井市 ・一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム ・千葉県社会福祉協議会 ・中間支援組織 ・中央ろうきん	